

思い出のお店を残そう！

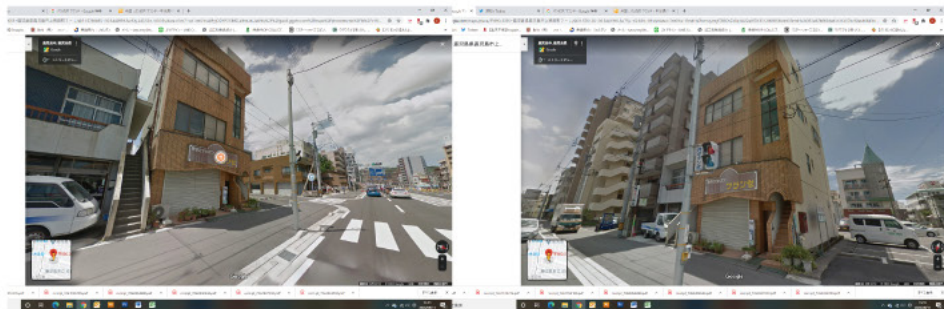
現代美術二等兵
ふじわらかつひと

大変な年となった2019年。よく通っていたお店がいくつも閉店しました。(コロナだけが原因ではないですが) おいしいラーメン屋さんが3月に閉店すると知って、何かできないかとお店のミニチュアを作ってプレゼントしました。8月には定食屋さんも立て替えのため閉店。11月には友達のパン屋さんがリニューアルということでそれぞれの思い出の姿を作りました。

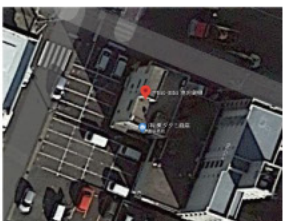


● 資料集め ネットは便利

近くであれば何度も行行って写真を撮ります。
遠方やもう無くなってしまった店舗なら、ネットで検索し画像を探します。
お店のホームページ、Google Earth、Google ストリートビュー、ぐるなび・食べログなどのサイトから画像を集めます。



Google ストリートビューであらゆる角度から。



Google Earth の
上空からの画像は貴重。

内部なども参考に。



● 材料集め 便利なものいろいろ

主にプラ板で構成しますが、最近はいろいろなプラ板が発売されています。
ラインの入ったもの、波板状のもの、レンガ、石畳などなど。
縮尺にあわせて選びます。
プラ棒も太さ・形状ともに様々なバリエーションがあります。



丸・角・板・パイプ・半円など
棒材も様々あります。

様々な形状・サイズのプラ板。

東京巢鴨にジオラマ専門店があり、通販も出来ます。
ここでアクセントとなる小物を買ったりします。よく使うのは
クーラーの室外機。この室外機のサイズから全体のサイズを決めたり
しています。



● 設計 プラ板の厚み分 どっちに増えるか

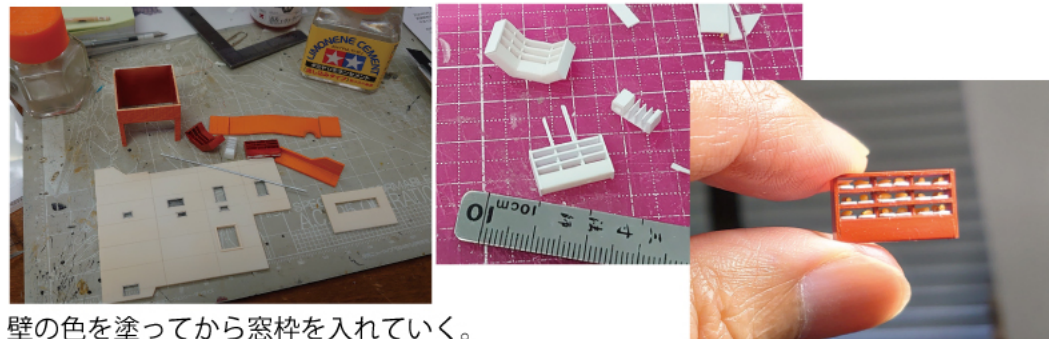
画像をもとに設計しますが、いつも厳密には描いていません。
サイズ感が分かる程度です。
プラ板を組み合わせた時にプラ板の厚み分がどっちに増えるかは注意しています。



このアウトラインに合わせてプラ板を切ると
貼り合わせるときにプラ板の厚み分ズレてしまう。
正面か側面かどちらからプラ板の厚み分を引いて
プラ板を切る必要がある。
そこまで計算した図面を描けばいいだけの話だが…。

● 組み立て 塗装 いよいよ形に

プラモデル用の接着剤、木工用ボンド、瞬間接着剤などを使い分けて
組み立てていきます。塗ってから組み立てるか、組み立ててから塗るか
も場所によって使い分けます。板と板を垂直に貼り合わせるのは強度が
ないので、角棒を入れたりします。



壁の色を塗ってから窓枠を入れていく。

プラ板で作った棚を塗装。

● 汚し 最後の楽しみ

きれいな色のままだとおもちゃっぽいのので汚し塗装を入れていきます。
ここが一番楽しい。
基本の色をラッカー系の塗料で塗装し、エナメル系塗料で汚しを入れていきます。
最近はエナメル系に限らず、汚し専用の塗料も多数出ています。



汚しを入れるとディテールがハッキリと。

僕はミニチュアが好きで材料も身近にあるため作りましたが、ミニチュアに限らず、絵を描いたり、写真をミニブックにしたり
好きな手法で大好きなお店の思い出を残しておくのはどうでしょうか？